

チャレンジ1 (2学年) 算数科学習指導案

1 単元名 かけ算 (1)

2 指導観

【1学年】

【たし算】

1年生では、2とび、5とびの数え方、10のまとまりがいくつあるかで数を数えたと乗法の基礎となる経験をしてきている。

繰り上がりのたし算は、計算カードを使い、2年生でも繰り返し練習してきた。A児、B児は、暗算が随分できるようになってきたが、C児やD児は、計算にやや苦しさがあるので、おはじきやブロックを用いて、計算の手助けにしていた。

【2学年】

【かけ算(1)】

本単元では、乗法の意味を理解したり、かけ算の式に立式したりできるようにする。買い物をする場面を設定し、「〇個ずつのりんごを〇つ分ください。」と言って買い物をし、「〇×〇」と式で表すことができるようにしたい。全体の数は、ブロックで確かめ、合っていたら商品(絵カード)をもらうことができる。楽しみながら、乗法の意味や立式、全体の数を求めることができるようにしていきたい。

【3学年】

【乗法や除法】

2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解することや、筆算の仕方ができるようにする。

また、乗法の逆算である除法の意味を理解し、計算できるようにする。具体的に、ブロックやおはじきなどを使いながら、同じ数ずつに分ける活動を取り入れながら、学習を進めていく。

3 目標

- 乗法の意味や性質、計算の仕方を理解することができる。(知識及び技能理解)
- 乗法が用いられる場面を式に表すことができる。いくつずつのいくつ分として考え、かけ算の式に表すことができる。(思考力・表現力・判断力等)
- 買い物ごっこをして、かけ算の式に表したり、全体の数を求めたりしたことを振り返り、日常生活において乗法が用いられる場面を見つけることができる。(学びに向かう力・人間性等)

4 単元計画(8時間)

- (1) 「ずつ」が使われる場面を設定し、「ずつ」の意味を理解する。 ①
- (2) 「ずつ」と「いくつ分」に着目して、全体の数を求めることができる。 ③
(本時2/3)
- (3) かけ算の意味について知り、式に書くことができる。 ②
- (4) 自分の好きなもの「ずつ」のものを絵、言葉、式で書くことができる。 ②

5 本時 2019年 10月 4日 (金) 3校時

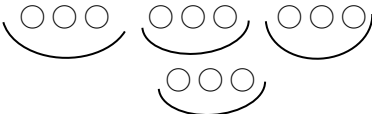
6 主眼

- 「ずつ」と「いくつ分」に着目して、買い物ごっこをすることができる。
- カップにブロックを入れ、操作して全体の数を求めることができる。

7 準備

同じ数ずつの果物や食べ物カード、透明プリンカップ、ブロック、プリント

8 本時の過程 (3 / 8 時間)

段階	学習活動と内容	主な支援
<p>つかむ</p> <p>さぐる</p> <p>深める</p> <p>生かす</p>	<p>【問題を見いだす活動】</p> <p>1 今までタイムを行い、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ 今までタイムを行い、前時学習を想起する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>3こずつの4つ分は全部で何個。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>(めあて) ずつの店で買い物し、全部の数がいくつになるか考えよう。</p> </div> <p>2 見通しをもち、買い物の仕方を知り、全部の数の求め方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2こずつのりんごを4皿分ください。 ①買い物をする。②お店屋さんに言う。③全部の数を調べる。④レジで丸つけ <p>【考えを表現し伝え合う活動】</p> <p>3 ずつの店で買い物ごっこをし、全体の数を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物をして、カップにブロックを入れ、全部の数を調べる。 ○ レジで丸つけをしてもらい合格したら、次の買い物をする。 <p>【学んだことを活用する活動】</p> <p>4 本時のまとめを行い、チャレンジタイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>(まとめ)「ずつ」と「いくつぶん」がわかると全部の数がわかる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジタイムを行い、学んだことのよさを実感する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>チャレンジタイムの問題 馬車やブランコの人数</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の見通しを持たせるために、前時の活動を振り返らせる。 ○ 「ずつ」の店で買い物したことを思い出す。 ○ 買い物の仕方(ことば)を提示しておく。 ○ 前時の買い物ごっこより、品物を増やしておき、意欲を持たせる。 ○ 買い物ごっこの順番が分かるように黒板に提示しておく。 ○ B児はたし算の式も書けるプリントを用意しておく。 ○ 学んだことのよさを実感させるために、教科書の問題に取り組みさせる。

授業仮説：
 いくつかのいくつかに着目し（数学的な見方・考え方）で表現し伝え合う活動を位置付ければ、かけ算の意味の理解につなげることができるであろう。

学習活動	成果	課題
1 今までタイムを行い、本時のめあてをつかむ。		
2 見通しをもち、買い物の仕方を知り、全部の数の求め方を考える。		
3 ずつの店で買い物ごっこをし、全体の数を求める。		
4 本時のまとめを行い、チャレンジタイムを行う。		